

# NPO 地域基盤技術継承 プラザ

平成 24 年度・第 4 四半期報



## 目 次

### 1. 第四半期報の主な活動

- (1) 大阪府産業支援型 NPO 協議会講座
- (2) 大阪府産業支援型 NPO 協議会活動
- (3) 中小企業経営基盤強化ゼミ
- (4) 機械製図基礎講座開催
- (5) 東大阪市民活動見本市に出展
- (6) 熟練技能者・技能伝承に関するアンケート実施

### 2. 今後の活動

- (1) 機械製図基礎講座開催
- (2) 企業内社員教育

### 3. 能力開発相談状況

### 4. 熟練技能者・技能伝承に関するアンケート結果

NPO 法人 地域基盤技術継承プラザ  
(大阪ものづくり人材育成支援センター)  
東大阪市荒本北 1-4-1  
クリエイション・コア東大阪 南館 2 階 2213 号  
電話・FAX 06-6748-1237  
E-mail: npo-s.p-o.j-i-sc@cup.ocn.ne.jp  
URL: <http://www2.ocn.ne.jp/~nposkill/>

## 1. 第4四半期の主な活動

### (1) 大阪府産業支援型 NPO 協議会講座

テーマ：NPO 法人のための環境・産業支援講座  
日時：1月15日（火）13：30～16：30  
場所：マイドームおおさか8階 第6会議室  
講師：森本一氏 NPO 地域基盤技術継承プラザ  
技術コーディネーター

参加者：22名

講座内容：『技能伝承の具体的な進め方』

- ① 標準時間の決め方
- ② 作業標準書の作成方法
- ③ 技能伝承取り組み企業の紹介



### (2) 大阪府産業支援型 NPO 協議会活動

大阪府「新しい公共支援事業：NPO等の活動基盤整備のための支援」その活動の一環として今年度、6回の講習会の後、講習会参加NPO同士の交流会を開催されました。当NPOより森本コーディネーターと事務局より谷口が参加し、活動状況の紹介等を通じ今後の連携を深める良い機会となりました。

日時：2月19日（火）13：30～16：30

場所：マイドームおおさか8階 第6会議室

参加者：35名



### (3) 中小企業経営基盤強化ゼミ

大阪産業振興機構主催の表記ゼミの講師派遣および資料作成支援を行った。

テーマ：経営者・管理者の能力開発

日時：2/21 2/27 3/7 (17:00～20:00)

参加者：25名 24名 20名

場所：クリエイション・コア東大阪 南館3階

講師：大谷昌三氏 パナソニック（株）OB

（第1回）『企業競争は企業文化の競争』

～変化に対応できる企業を目指して～

（第2回）『マネジメント力で組織を動かす』

～マネジメントの常識・定石を基本に～

（第3回）『やる気”のマネジメント』

～部下の育成・指導～

就業後夜間3時間の講座にも係らず参加者は大谷講師の経験に基づく中身の濃い講義の聴講、また、グループ討議と発表に熱心に取り組みました。3回目の質疑応答では若手経営者から、日常抱えている悩み（ベテランの使い方など）生々しい質問が出るなど大変好評を得ました。



### (4) 機械製図基礎講座開催

当NPO会員企業様向けに日頃のご支援に対する御礼の意味を込めて開催しております。既に5社より申し込みを頂き、3月より開始いたしました。4月、5月は各企業、新入社員も合流し、受講者は増える見込みです。

<講座内容>

・3時間X4回（計12時間コース）

・プログラム（例）

（1回目）製図規格、投影法、立体図、線、三角法

（2回目）図形の表し方、寸法の記入法、部品の作図

（3回目）寸法補助記号、寸法公差、はめあい、3面図の作成

（4回目）幾何公差、表面性状



## (5) 東大阪市民活動見本市に出展

主催：東大阪市民社会福祉協会

日時：3月16日（土）13:00～16:30

場所：布施駅前 夢広場

展示：日頃の当NPOの活動状況をパネルで紹介、及び技能伝承に関するDVDの放映を行いました。



## (6) 熟練技能者・技能伝承に関するアンケート実施

当NPO設立の背景のひとつとなった、平成15年6月に東大阪商工会議所が実施した、地域企業における技能伝承のニーズ把握アンケートを、約10年経過した本年同じ設問内容で同東大阪商工会議所と協同で実施しました。その結果を次ページより紹介いたします。

<アンケート方法>

【期 間】平成25年2月1日～2月15日

【対 象】1,073社（東大阪商工会議所会員で金属、機電工業、軽・化学工業部会に所属する従業員10人以上の事業所）

【回 収】196社（回収率18.3%）

## 2. 今後の活動

### (1) 機械製図基礎講座

- ・4月／1社（於：企業先）
- ・5月／2社（於：クリエイションコア東大阪）
- ・6月以降は募集中

### (2) 企業内社員教育

- ・T社：4月～5月（機械製図・ボール盤作業・フライス盤作業）
- ・M社：6月～3月（油圧回路基礎講座・ものづくり体験講座・機械製図基礎講座）
- ・D社：5月以降（ボール盤作業）<交渉中>
- ・M社：技能指導（旋盤作業・自動機組み立て作業）<交渉中>
- ・U社：技能指導（NC旋盤作業とプログラミング）<交渉中>

## 3. 能力開発相談

平成24年度 能力開発相談状況（件数・人数）

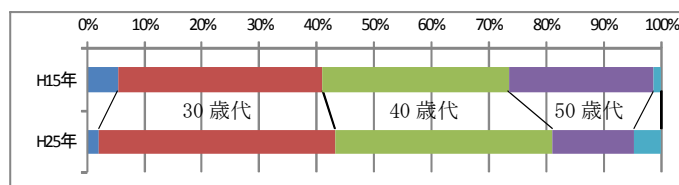
期間	来所相談	訪問相談	電話・メール	計	相談内容		実施結果	
					教育計画	講師派遣	講演・研修	参加者数
H23度合計	138	87	—	225	56	75	56	879
4月	15	9	14	38	10	7	0	0
5月	10	13	11	34	10	12	9	49
6月	15	14	7	36	13	13	6	18
4-6月合計	40	36	32	108	33	32	15	67
7月	12	8	16	36	9	8	4	8
8月	5	27	2	34	15	10	10	208
9月	5	11	15	31	4	7	5	38
7-9月合計	22	46	33	101	28	25	19	254
10月	11	6	14	31	7	6	0	0
11月	12	4	14	30	1	4	0	0
12月	18	7	2	27	1	3	0	0
10-12月合計	41	17	30	88	9	13	0	0
1月	9	9	8	26	3	1	1	22
2月	13	4	23	40	13	5	2	49
3月	7	11	12	30	8	9	5	32
1-3月合計	29	24	43	96	24	15	8	103
H24度累計	132	123	138	393	94	85	42	424

## 4. 熟練技能者・技能伝承に関するアンケート結果

### I. 熟練技能者について

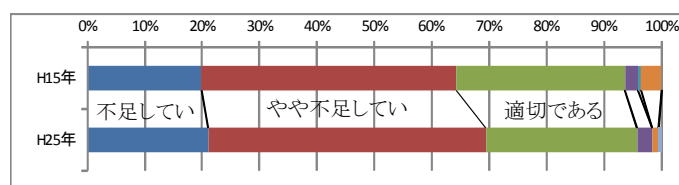
#### 1. 生産工程の中心となっている年代

生産工程の中心となっている年代をみると、「30歳代」が41%（78社）と最も高く、次いで「40歳代」の38%（72社）となっている。H15年に比べ「50歳代」が25%から14%と減少。また、20歳代の減少も著しく若手の製造現場離れも見られる。



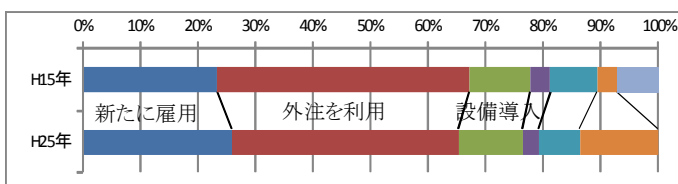
#### 2. 現在の熟練技能者の過不足状況について

熟練技能者の過不足状況をみると「不足している」21%（50社）、「やや不足している」48%（92社）と合わせると70%弱の事業所で熟練技能者が不足している。H15年に比べ不足の割合は増加している。



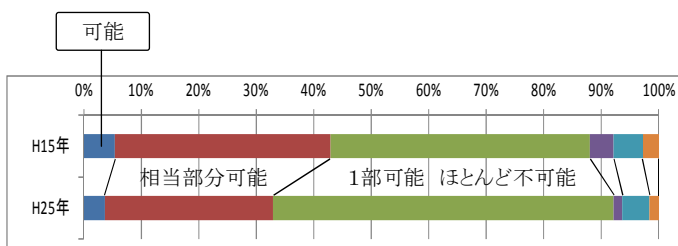
#### 3. 熟練技能者が不足している時の対応状況

熟練技能者の不足時の対応をみると、「外注を利用」39%（99社）が最も多く、次いで「新たに技能者を雇用する」26%（65社）と続いている。H15年に比べ新たに技能者を雇用する割合が増加している。



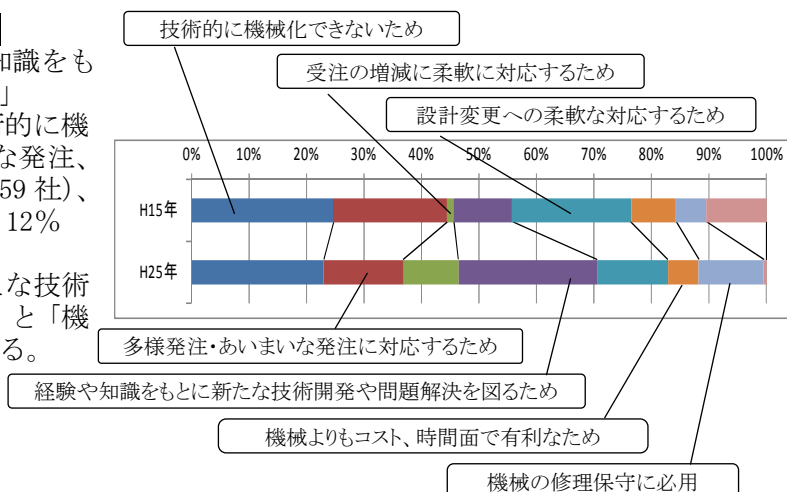
#### 4. 熟練技能者の仕事の機械化について

熟練技能者の仕事の機械化をみると、「一部可能であるがほとんど不可能」58%（113社）が最も多く、次いで「相当部分可能」29%（56社）と続いている。また「一部可能であるがほとんど不可能」と回答した事業所（113社）に機械化できないところを具体的に聞いたところ、「職人技、経験や感性は機械化できない」40社が最も多く、次いで「単品、多品種・小ロットのため」が21社、「調整作業や組み合わせなどの限定的作業」が11社と続いている。



#### 5. 熟練技能者が必要な理由（複数回答）

熟練技能者が必要な理由をみると、「経験や知識をもとに新たな技術開発や問題解決を図るため」25%（103社）が最も多く、次いで「技術的に機械化できないため」23%（98社）、「多様な発注、あいまいな発注に対応するため」が14%（59社）、「設計の変更柔軟に対応できるため」が12%（48社）と続いている。H15年に比べ「経験や知識をもとに新たな技術開発や問題解決を図るため（派遣を含む）」と「機械の修理保守に必要」が大きく増加している。

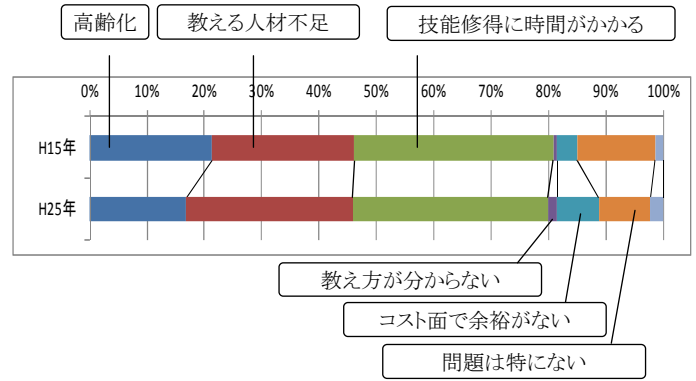




## II. 技能継承について

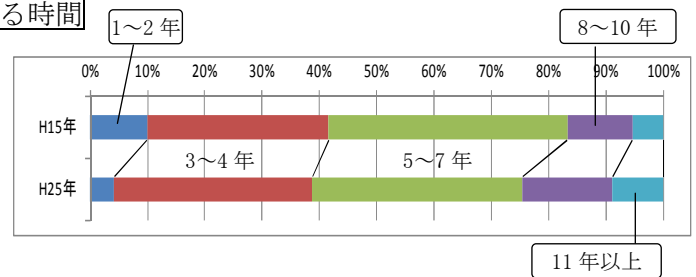
### 6. 技能継承の問題点（複数回答）

技能継承における問題点を見ると、「技能修得に時間がかかる」が34%（103社）最も多く、次いで「教える人材の不足」29%（88社）、「高齢化」が17%（51社）と続いている。  
H15年に比べ「教える人材の不足」・「コスト面で余裕がない」が増加。



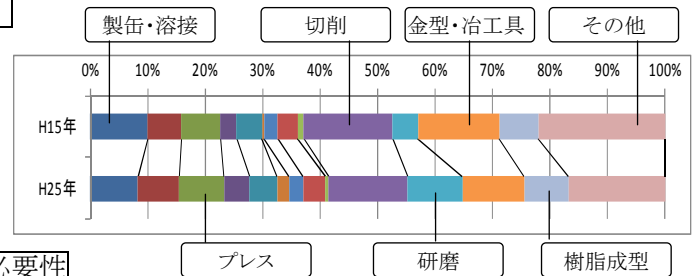
### 7. 最も難しい作業工程で一人前になるまでに要する時間

最も難しい作業工程で一人前になるまでに要する時間をみると、「5～7年」が36%（70社）最も多く、次いで「3～4年」が35%（66社）と続いている。H15年に比べ「8～10年」・「11年以上」が増加している。



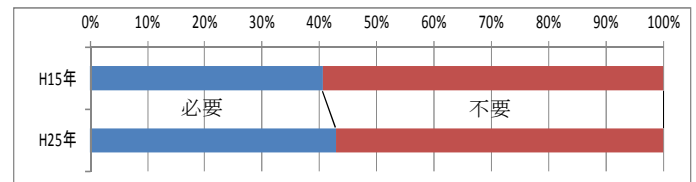
### 8. 技能継承が必要だと思われる職種（複数回答）

技能継承が必要だと思われる職種をみると、「切削」14%が最も多く、次いで「金型・治工具」が11%、「研磨」が10%、「プレス」「樹脂成形」がともに8%と続いている。



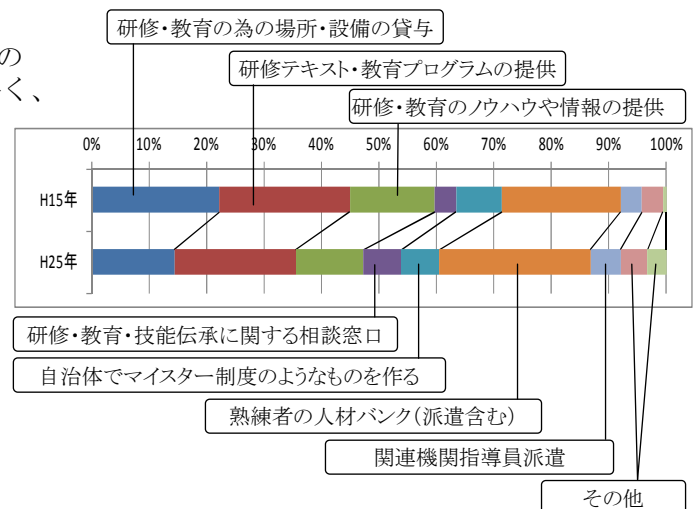
### 9. 技能者の育成、技能継承のための公的支援の必要性

技能者の育成、技能継承のための公的な支援について、43%が「必要」と回答。



### 10. どのような公的支援があればよいと思うか

必要とする公的支援の内容をみると、「熟練技能者の人材バンク（派遣を含む）」26%（40社）が最も多く、次いで「技能者の研修・教育に対するノウハウや情報の提供」が21%（32社）、「技能者の研修・教育のための場所や設備等の貸与」が14%（22社）、「技能者の研修テキストや教育プログラム等の作成・提供」が12%（18社）と続いている。  
H15年に比べ「熟練技能者の人材バンク（派遣を含む）」が大きく増加している。



### 11. 技能者継承についての意見（自由記述）

技能者継承について36社から意見があり、「教育する時間・費用がない」が9社と最も多く、次いで「公的な支援が必要」と「技能継承する人材が不足」がともに5社、「従業員の意識レベルの低下」が3社と続いている。

以上